

大腸がん検診は

簡単・安い!

町の補助があるから

300円



▷問い合わせ 健康づくり係
(☎223局3533)



病院では、新型コロナウイルス感染症対策をした上で検診を行います。

がん検診は自粛しないでください。

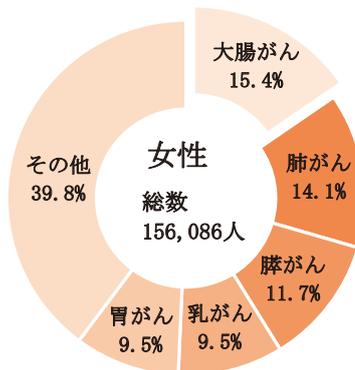


大腸がんは

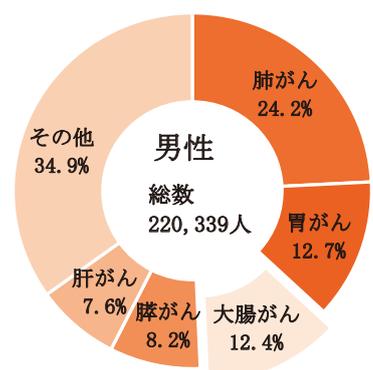
女性のがん死亡原因の第1位
男性は第3位

大腸がんは、進行するまで自覚症状がほとんどありません。がんは早く見つけて治療すれば95%以上が完治すると言われています。がんで命を失わないためには、症状のないうちに検診で見つけて治療することが大切です。

女性のがん死亡原因



男性のがん死亡原因



出典：公益財団法人がん研究振興財団 がんの統計 2021

大腸がん検診の内容

- 検査方法 便潜血検査 (2日法)
※検査は便を採取するだけなので、自宅で簡単にすることができます。
- 検査料金 300円
- 対象 40歳以上の町民
※保険の種類に関係なく受けることができます。



大腸がん検診の流れ

- ①芦屋中央病院に予約する
☎222局2932 (予約専用：平日・午前10時～午後4時)
- ②検査容器が自宅に郵送される
- ③2日分の便を採取する
※直射日光に当たらないように注意してください。
- ④芦屋中央病院に検査容器を提出する
- ⑤結果が自宅に届く
- ⑥検査で陽性(異常あり)の場合は、必ず医療機関で精密検査を受ける
大腸がん検診のほかにも芦屋町で受けられるがん検診があります。



△大腸がん検査容器

▷問い合わせ ボランティア活動センター
(☎221局1011)

リーどぼらんていあキッズ 研修会報告

リーどぼらんていあキッズは、活動テーマの1つとして災害支援活動を行っています。今年度は、ボランティア活動センターで開催されたワールドカフェに参加して、災害時のボランティアを学習しました。

もし、芦屋町で災害が発生したら、リーどぼらんていあキッズには何ができるのだろうか。

今回の研修では、避難所が開設されたときに使用されるテントやベッドの設営体験をとおして、身近な場所で災害が起きたときにどんなボランティアができるのかを考えました。

設営は2班に分かれて、大人の手を借りずに行いました。テントは支柱などの部材が軽く、説明書を見れば簡単に組み立てることができました。ベッドは金属製でキッズにとっては重たいものでしたが、協力して組み立てを行いました。完成後、全員がそれぞれテントに入り、テントの広さやベッドの寝心地を確認しました。

避難所でテントやベッドで生活しなければならなくなった避難者に対して、どんなボランティアができるのかを考えてみると、食べ物や飲み物を配ることやなにか困っていることがあればその話を聞くことなどが挙げられました。

今回の研修は、避難者の生活環境を理解する機会になりました。今後の災害支援活動にきっと役立つと思います。



△みんなで協力して避難者用のベッドを運ぶ
リーどぼらんていあキッズ

40歳を過ぎたら 1年に1回 受診しましょう

芦屋町で受けられるがん検診

がん検診は町の補助があり、大変お得に受けられます。検診の対象者、受診方法など、詳しくは健康づくり係へ問い合わせてください。

- 胃がん検診 (胃透視・胃カメラ)
- 肺がん検診 (X線・喀痰^{かくたん})



- 前立腺がん検診
- 子宮頸がん検診



- 乳がん検診
- 骨密度測定



国民健康保険に加入の皆さん！ 特定健診を受けましょう

- 健診料金 500円
 - 健診当日持参するもの 受診券・国民健康保険証
 - 受診場所 遠賀郡・北九州市・中間市内の医療機関
- ※かかりつけの病院で血液検査をしている人は健診結果の情報提供にご協力ください。
- ※特定健診の詳しい情報はホームページをご覧ください。

